

無線LANにより、どこに持っていてもすばい使えるため、できるだけ早い段階で整備を進めていきたい。

〔質疑〕教育費の電子黒板について、電子黒板を使う授業は、数学と技術家庭と理科と英語の4科目で、一番有効なのは英語だと話しを聞いた。学年ごとに一台ずつ配備してほしいという要望もあるが、各学校からは、どのような反響があるのか説明願いたい。

〔答弁〕電子黒板は、平成26年2月に全ての学校に配備をした。3階以上の学校は2台、白石第二小学校も2台、2階建ての学校は1台をそれぞれ配備した。電子黒板は、非常に重いので、階を超えて移動すると、器具の損傷や運ぶ教員と生徒の安全面からなかなか難しい。できれば、各階に1台ずつ配備してほしいとの要望がある。小学校の社会科では、デジタル教科書も使っており、非常に頻度が高くなっている。今後、配備の検討をしていきたい。



決算審査特別委員会の現地調査（白石中学校）

〔質疑〕国際交流費の負担金補助及び交付金の不用額について説明願いたい。

〔答弁〕中学生の派遣事業や友好の翼事業での予算計上であるが、友好の翼の参加者が18名となり、当初見込みの30名から減ったため不用額が発生した。

〔質疑〕企業立地推進費の負担金補助及び交付金の不用額について説明願いたい。

〔答弁〕企業立地雇用促進奨励金として4名分の予算計上であるが、県の宮城県事業復

興型雇用創出助成金制度で申請することになった。県の制度を活用する場合、市の助成金が申請できない。また、この県の制度の決定が年度末になつたため不用額が発生した。

〔質疑〕障害者総合支援費の不用額について説明願いたい。

〔答弁〕障害福祉サービスは、障害者の高齢化等により、同じ方が複数のサービスを利用するケースが増えている。そ

のため、平成26年2月補正で、サービス事業の必要額を調整し、サービス提供確保のため約6千400万円を増額補正した。実績では、平成24年度対比で、5.7%、約2千500万円ほど上回って支出しているが、増額補正したサービス料には至らず、執行残が生じた。障害福祉サービスの給付費の執行率は約95%で、おおむね計画どおりに執行されたと考える。

平成25年度 一般会計・特別会計決算の状況

〔単位：円〕

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	16,059,104,658	15,192,762,428	866,342,230
特別会計	8,253,710,990	7,810,119,160	443,591,830
国民健康保険	4,616,729,713	4,273,804,907	342,924,806
介護保険	3,260,252,597	3,169,113,669	91,138,928
後期高齢者医療	376,728,680	367,200,584	9,528,096
合計	24,312,815,648	23,002,881,588	1,309,934,060

平成25年度 企業会計決算の収支状況

(消費税相当額を含む)〔単位：円〕

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業	920,594,897	868,333,159
下水道事業	806,683,915	783,040,324

〔質疑〕道路維持費の不用額について説明願いたい。

〔答弁〕道路維持費は、冬の除雪費の予算で、2月議会で補正をしている。2月の記録的な大雪で出勤回数のがべ176回であったが、3月の出勤回数がのべ14回とかなり少なかった。そのため、予算に不用額が発生した。

〔質疑〕都市計画費の不用額について説明願いたい。

〔答弁〕工事請負費については、平成24年度からの繰越事業の造成宅地滑動崩落緊急対策工事である。非常に特殊な工事のため、変更による増を見込んで事業費を算出していた。平成25年度に工事を実施したが、結果的に見込んでいたほどの工事内容の変更が生じなかったため、不用額が発生した。

負担金補助及び交付金については、一般会計から下水道事業会計に補助金として交付している。5月に下水道事業会計から一部返還があり不用額が発生した。